



平成11年3月20日  
第 7 号

桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361



た意見交換ができました。このことは、協会の今後の活動にとって、桑名の将来にとって、たいへん大きな財産であると確信しています。

### 文化祭各会場での催し

## 世紀末の元気



桑名市文化協会会長  
佐藤 勤三

不景気である。  
日本人総個人資産

額は約一二〇〇兆円

であり、世界一の借金王国アメリカの国債を日本がこれまで世界最多の約三〇〇億ドルを上まわる額を持ちながらである。韓国・東南アジア諸国・ロシア・ラテンアメリカも大きな経済混乱の中で喘いでいる。一方アメリカは空前的好景気の只中にある。

右肩下りをつづけてきた日本の不況の中でも頼もしいことには、芸術文化活動は元気である。桑名市文化協会は、発足当時の会員数約六〇〇名であったが、現在は三七〇〇名余に達した。日常は手前弁でお稽古に励み、自主公演をしたりしているが、桑名市主催の芸術文化祭やイベントなどには、当

然のことながら即応的緊縮財政の最中で、充分の検討を重ねてできる限りの助成をなし、また財界企業の広告や特に桑名信用金庫財団の応援を享け、様々な施設の舞台やロビー・六華苑で各文化団体が美しい文化の花を咲かせてきた。

明治維新後、文明開化・富国強兵の政策を政府は打ち出した。音楽・絵画ともヨーロッパ指向となり、その結果多くの日本人が世界を舞台に活躍している。桑名からもそういう方がおられる。一方、日本古来の伝統文化の多くは、ひたすら民間の手の中で脉々と传承され、今や各国の文化人が刮目するようになった。

少子化時代に入ろうとしている。年配者も働き、様々な外国人が移住してきて日本のGDPの支えとなることであろう。日本は、この人たちの文化をも受け入れ、融合し、混血してゆくが、その中で日本の伝統芸術や文化は根強く定着し発達していくことだろう。

### 事 業 報 告

本年も桑名市からの委託を受け第7回桑名市民芸術文化祭を約一ヶ月間開催しました。市民芸術文化祭の名のとおり、市民に楽しんでいただけるような市民参加型の事業を取り入れての催しでした。

また、部門間交流にも力を入れ、

「音楽のフルコース」や「演劇の祭典」に芸術Ⅲ部門（洋舞）の会員が賛助出演し、舞台を華やかに盛り上げました。六華苑で開催の趣味教養部門の様々な催しに芸能I（邦楽）部門が協力し、日本間で琴・尺八の演奏を行いました。

会場の雰囲気を盛り上げるという点で、大きな協力ができたと思ひます。

更に、今年度は本文化協会も設立五周年を迎える、その記念行事を行なったことも忘れてはなりません。会場となったコミュニティプラザ・六華苑は、桑名市教育委員会・桑名市文化協会が主催で、桑名の文化について熱のこもつ

#### 【コミュニティプラザ】

11/14	子どもフェスタ (絵本の読み聞かせ)
11/15	演劇の祭典
11/15	子どもフェスタ (ちびっ子マナー教室)
11/20 ~23	美術展
11/22	子どもお習字大会
11/22	謡曲まつり

#### 【六 華 苑】

11/1 ~3	華道展
11/3	茶会
11/21 ~23	伊勢型紙の年賀状作り
11/21 ~23	トールペインティング 作品展と体験会
11/21 ~23	木目込み人形展
11/21	邦楽演奏会
11/22	百人一首かるた初心者入門
11/23	囲碁名人戦
11/23	将棋名人戦
11/23	競技かるた演技見学会

#### 【市 民 会 館】

10/31	将棋一般大会
10/31 11/1	趣味教養グループ展
10/31 11/1	水石展と手づくり仲間展
11/1	囲碁一般大会
11/2 ~3	文芸展・菊花展
11/3	吟剣詩舞道の祭典
11/8	音楽のフルコース3
11/8	ざくばらんトーク(6)
11/22	芸能の祭典
11/23	3ステップDEムーブメント



## 部門だより

投句・投詠に

ご参加ください

文学部門

佐藤たもつ  
(八風俳句会)

桑名文協第七号の広報を発行する季節になった。早いものである。老骨に鞭うつて文学部門の理事を引受け二年を経た、五月の総会までの任期を健康に努めたい。

三日桑名市民会館ロビーにおいて開催。菊花展、詩吟発表会との重なりに、より多数の方々のご批評を得られありがたかった。初回より七回まで進歩のない会場作りであったことが大いに反省されるが。新しい試みとして三回目になる不特定多数の方々の投句、投詠を期待していたが、低空飛行であった。

年一回の文芸作品公募です。  
市民の皆さん、楽しんで参加なさって下さい。

「今年度文芸展応募内訳」

俳句短歌  
十五点  
十九点  
二十一点

「川柳」木原広志先生選

台風が襲ふ日本は不況風  
松茸の隣のしめじ買つてくる

希望ヶ丘  
蓮花寺  
山口辰己

「短歌」大平修身先生選

回復の兆なき夫看とる宵

蓮花寺  
松井貴美子

窓辺に這いし蠍蟬哀し

北別所  
多賀たみ子

得意顔どんぐり見せる初孫の

蓮花寺  
松井いせ子

宝物入るポケット叩く

小貝須  
中村千恵子

「俳句」 蒔田よし子 先生選

着膨れて家鴨のやうに歩くかな  
あつかりし別れの握手秋の駅  
晩学の背を丸くし文化の日  
つぎつぎに風は野を去り草紅葉  
月冴えて足先白きこぼれ萩

一色町  
有楽町  
中央町  
希望ヶ丘  
内田富貴子  
鈴木源之助  
新高泰子  
山本利夫  
中村千恵子

「俳句」 葛山たけし 先生選

あつかりし別れの握手秋の駅  
焚火する煙に追われみぎひだり  
紅葉の山を引き寄せ滝流る  
晩学の背を丸くし文化の日  
湧水の流れとなれり草紅葉

希望ヶ丘  
中央町  
山新高泰子  
利夫子  
有楽町  
東野  
寺山三郎  
鈴木源之助  
山本末子郎  
小貝須



桑名少年少女の合唱団

オーストラリア ゴスフォート市への演奏旅行。老人ホームにて。



文芸展と菊花展

11月2・3日 市民会館ホールにて

## 文化祭

有意義に終わる

音楽部門 小林 信隆  
(桑名マンドリン俱楽部)

を締めくくりました。  
多くの市民の皆さん、日々忙しい中にも潤いをもつて頂くために、音楽の効用は大切なものです。もっともっと音楽を楽しむ場(練習会場も含めて)のある文化都市桑名の発展を願っております。



音楽のフルコース3 グランドフィナーレ 11月8日 市民会館ホールにて

## 国際色豊か! 演劇 燃える!

演劇部門 羽場 正一  
(桑名西高校演劇部)

☆アイルランドの劇団と交流

八月一日、桑名演劇協会と桑名市国際文化交流実行委員会による「日本・アイルランド演劇」交流が桑名市コミュニティプラザで開かれました。

アイルランド劇団ドラムリン・プレイヤーズが桑名市の劇団「すがお」の第五十七回公演にあわせて競演したものです。

同劇団が同国の有名な劇作家シングの「海へ挑む人々」と「敗北者」の上演は日本では珍しく、文化交流の上では価値ある内容でした。また、劇団すがおは「広くてすてきな宇宙じゃないか」をテンポよく上演してくれました。

☆桑名西高「二〇××」で優良賞

八月三十一日の北勢地区高校演劇大会で、桑名西高演劇部は、阪本龍夫作「二〇××」で、コンピューター支配へのブラックユーモアー劇で、昨年に続き、優良賞を受賞しました。



アイルランド劇団の上演  
8月1日 コミュニティプラザホールにて

## ☆市民芸術文化祭・演劇の祭典 もり上がる!!

十一月十五日、演劇の祭典が、桑名市コミュニティプラザで開催されました。こども演劇くわなの、喜多と志作・演出の「赤毛のアンとポンとタン」は、ジャズダンスの友情出演もあって、元気よく、楽しい劇になつていて良くできていました。桑名高演劇部は水川裕雄作「死神の死」は、女子ばかりでしたが、老人問題にテーマを見て考えさせられる劇づくりでした。桑名西高演劇部はW・ギブセンの「奇跡の人」を熱演で、客席に感動を与えてくれました。高校演劇OB桑西児(演劇集団)は田中豊作「ザ・パンク・イズ・メイドインUSA」をテンポよく楽しくやってくれました。

## 桑名にゆかりの

### 漢詩二題



芸能Ⅱ部門 松田 崇洲  
(桑名市吟劍詩舞連盟)

また、佐々木方水は桑名城趾からながめた景色を次のように詠んでいます。

### 「揖江」

揖江溶々対鯨山  
城趾草繁浮碧潭  
問欲興亡往年事  
只夕陽有遠帆還

揖江 || 拝斐川

鯨山 || 多度山

碧潭 || みどり色  
の淵

往年 || 過ぎ去っ  
た昔

遠帆 || 遠くの舟

桑名市立博物館には、江戸時代

後期の歴史家・頼山陽の直筆の「日本外史」が、今も大切に保管されています。それは山陽が時の老中・松平定信に献上したもので

す。  
山陽は、三十三歳の折、大垣から舟出して桑名へ立寄ります。次の詩は旅の途上で山陽が詠んだ七言絶句です。

### 「舟発大垣赴桑名」

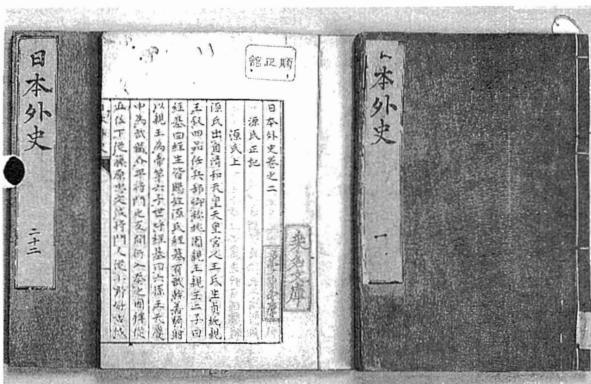
蘇水遙々入海流 蘇水 || 木曽川

櫓声雁語帶郷愁 鳴声 || 舟のろの音  
雁語 || 雁の鳴く声

天涯 || 故郷を離れた地  
天涯年欲暮

独在天涯年欲暮

一篷風雪下濃州 一篷 || そうのうの



松平定信に献上した頼山陽直筆の「日本外史」原本

## 桑名市芸術文化祭に

### 初参加して

芸能Ⅲ部門 渡辺 悅子  
(フラン・カーライアロハ桑名)

ステップ de ムーブメント三回目に初めて参加出来ました事は、私にとって、ハワイの「キング・カメハメハ・フラ・コンペティション」で、連続優勝出来た事と匹敵する

位、嬉しい事でした。地元である桑名の方々とフラを踊りたい、本物のフラを皆様と一緒に楽しみたいという事は私の念願でした。

ハワイに遊びに行く方は数限りないと思いますが、フラについては意外に知られていないように感じます。フラはハワイ語で「踊り」という意味ですが民族伝統芸能ですから、実に奥が深く古典からモダン迄、様々なフラがあるという事や、又決して下品なものではないという事等、観光旅行だけでは分からぬ事も多いと思います。

フラは年令や体型に関係なく踊れます。心地良い音楽に合わせ優雅に美しく、またリズミカルに練習していますと、心も身体も爽やかになります、絶好のストレス解消法

になりますし老化防止にも最適です。

去る十年十一月二十三日桑名市

民会館ホールの舞台には、先輩お二人の先生方が暖かく迎え入れて下さったのと、桑名市の関係各位の皆様の深いご理解のもと、実際に楽ししく踊る事が出来ました。本当に難う御座居ました。これから年々益々充実させて行きたいと思つています。どうぞ宜しくお願ひ申しあげます。そして皆様の御参加を是非お待ちしております。



3ステップ DE ムーブメント 11月23日 市民会館ホールにて

師

匠

芸能Ⅰ部門 松尾 宇山（尺八）

私達の芸能Ⅰ部門は、謡曲・舞

踊・民謡・大正琴・長唄・小唄・  
箏曲・尺八・現代三味線・津軽三  
味線等で構成されています。そし  
て各構成部門にすばらしい師匠の  
存在があります。私の場合は、尺  
八であり師は大竹泗山先生（前桑  
名邦楽協会々長）です。平成七年  
に他界されましたので、後は奥様  
の大竹一枝先生（現会長）になる

のかも知れません。

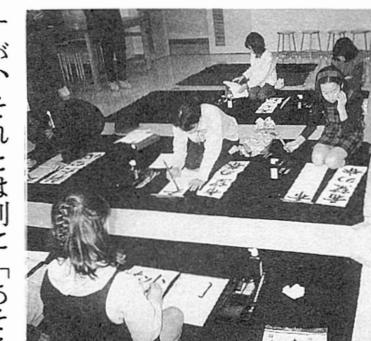
昨年の第七回桑名市民芸術文化  
祭には「みだれ」という箏曲で出  
演させて頂きましたが、緩急もあ  
り、初めは、全く合奏になりませ  
んでした。何度も何度も練習を重  
ねるうちに、下手な私でも何か合っ  
てきたような、苦しさから楽しさ  
に変わってきたような感じを経験  
させて頂きました。芸能も忍耐、

もつと展示の場所を…

美術部門 水谷えい子

（養心書道会）

作品の発表が出来たのでは……と  
思います。



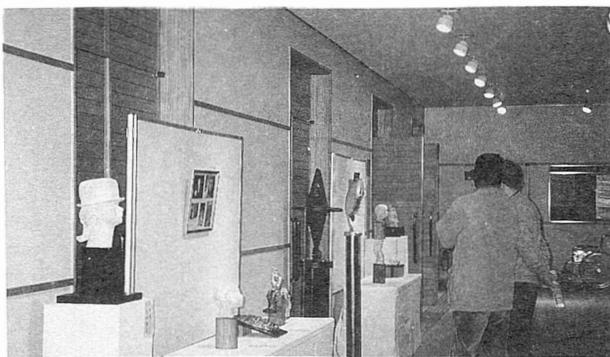
子どもお習字大会 11月22日  
コミュニティプラザにて

近年美術志向の人口は増えつつ  
ある中で部門展は、会場難でもあ  
り会場設定がとても大変です。

私達美術部門の全会員数は七六  
八名ですが、その内会場の規模に  
合わせて、絵画・書道・写真・彫刻・  
工芸など一五三点出品されました。  
今年は昨年よりも一日多く、四日  
間の展示ではございましたが、も  
う少し期間が長ければ二班に分け  
てでも、もつとたくさんの方々の

一途さ、真を感じさせられます。  
また、高い何かを、より広い何か  
を、より深淵な何かを与えてくれ  
る、そのように思います。師に対  
して、ありがとうございます。師持を忘れず  
谦虚さを根底に、自分の感性と成  
長を実感しながら、師と共に、仲  
間と共に、そして皆様と共に、が  
んばっていきたいと思います。

学校とは一味違った自分の好  
きな言葉をのびのび書いている姿  
を見て、今何でも機械化されつ  
つある中で小さい時から日本の伝統  
文化に興味をもつてもらい今後に  
強い味方ができた様に思います。  
最後にいつも思いますことは、  
桑名にはりっぱな博物館がありま  
す……と願っております。



美術展 11月20日～23日  
コミュニティプラザにて

師たる方々には、みなひたむき  
な途さ、真を感じさせられます。  
また、高い何かを、より広い何か  
を、より深淵な何かを与えてくれ  
る、そのように思います。師に対  
して、ありがとうございます。師持を忘れず  
谦虚さを根底に、自分の感性と成  
長を実感しながら、師と共に、仲  
間と共に、そして皆様と共に、が  
んばっていきたいと思います。



邦乐演奏会 11月21日 六華苑にて

## 春の文化市場（バザール）

しませんか!!

趣味教養部門 西村 邦彦

（日本アマチュア将棋連盟  
東海ブロック）

“市民文化祭とは何をすればよいのか” “文化協会の活動はどんなことなの”と部門の会合でよく話しあうことがありました。まだ結論に至っていませんが、とにかく、“一緒に何かやってみなさい”といふことで、今回の企画です。宜しくお願いします。

### 【応募要領】

期間→4月9日(金)～11日(日)  
の3日間とし、いずれも午前9時  
～午後9時の間で自由に。

会場→桑名市民会館の大会議室  
と第1～4会議室とし、希望をも  
とに「会」で割り当てる。  
目的→桑名市文化協会の目的に  
賛同される方で、他団体と交流し  
たい、市民にアピールしたい、入  
会を呼びかけたい、練習の成果を  
発表したい、市民の作品を集めた  
いなど。出展方法は団体(者)の  
自由。



趣味教養グループ展 10月31日・11月1日 市民会館会議室にて

受付→2月1日～3月25日とし  
所定の申込書(FAX24-4015  
へ請求)にて。お問い合わせは  
21-0724(夜間7～11時)へ。  
負担金は三〇〇〇円のみ(出展  
一団体(者)。会場代のみ主催者  
負担(出展に関わる諸経費は出展  
者の負担)とします。

## 第六回 ざっくばらんトーク

社会文化部門

種瀬 映子

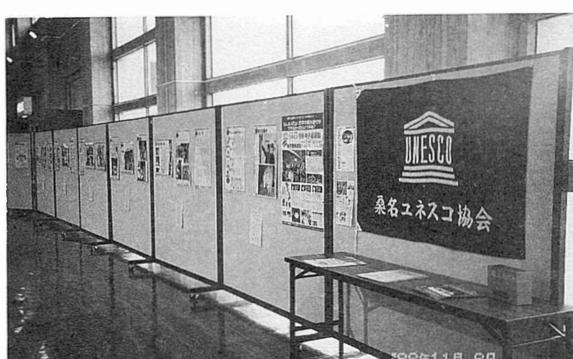
(桑名ユネスコ協会)



ざっくばらんトーク(6) 11月8日  
市民会館会議室にて

十一月八日開催のざっくばらん  
トークは、岸田真代氏(ヒューマ  
ンネットあい代表)を講師に迎え  
「共感を得る表現法」と題し、自  
分の思いをきちんと相手に伝え、  
共感を得るにはどのようにしたら  
よいかを学びました。ざっくばら  
んの表題通り、講師から問題提起  
してもらいそれに対し、一人一人  
が意見を述べ、板書し、どの表現

法が適切か検討しました。ほど良い参加者数だったのでこのよ  
うな講演会は新鮮味と緊張感を与  
え、又、内容は、現代社会のコミュニ  
ケーションの仕方に良い助言と  
なりました。  
同時に、今回担当の、桑名ユネ  
スコ協会のユネスコ世界寺子屋運  
動パネル展を、市民ホールロビー  
で行い、皆様の関心をよぶ事がで  
きました。同会は小・中学校・市  
民の皆様から集めていただいた書  
き損じハガキをもとに、バングラ  
ディッシュの寺子屋を支援してい  
ます。その支援先を二月七日から  
視察訪問し、帰国後、報告会等を開  
く予定をしています。



桑名ユネスコ協会の活動(パネル展示)  
市民会館ロビーにて

## 子どもが探しているもの

子ども文化部門 西村 けい子

(三重子どものマナー研究会)



ちびっこマナー教室 11月15日  
コミュニティプラザにて

今年は例年になく暖かい日が多く、天気のよい日には子どもと一緒にほど散歩に出掛ける。ガーデニングブームとやらで、よそのお宅の庭や玄関周りの木々、色とりどりの季節の花の美しさに見ながら、これといった目的地もなくぶらぶらと歩く。

散歩コースの途中に広い空き地があり、休日ともなるといろいろな人が遊びに来ている。犬を連れて散歩に来た家族、虫探しやボール遊びを楽しむ親子、正月には風あげにおじいちゃんと孫らしき二人……。

片側は道から少し上の形で斜面になっている。段ボールをお尻に敷いて草すべりか、はたまた下から走って駆け登り、どこまで手を使わずに登るか競ったり、などと、子どもの頃を思い起こす。造られた公園ではない、ただの広い草っぱらだ。遊びの想像はふくらむ。ましてや現役の子どもたちなら……。

「〇〇やるから来ませんか」的な行事も質の高い文化に触れさせ

る一つの機会であり、文化継承の面からも重要なことである。同時に、子どもたちの中から自然発生した行動力もまた、21世紀の文化を創りあげるであろうエネルギーの源であることを心する。私たち大人は、如何にそれを有意義に燃焼させてあげられるか……。

棒切れを手に手に空き地内を横断していくちびっこ探検隊を見かけ、未来の文化の担い手となる子どもたちの健やかな成長を願つてやまない。その一つの手助けとなるべく部門の諸活動を続けていくことが私たちの課題である。

## 文化祭を終えて

茶華道部門 神保 喜一

(いけばな 池坊)

平成十一年度市民芸術文化祭が例年通り六華苑に於て行われ、お茶席は終日大賑い、華道展も大勢の方々にご高覧いただきましたこと心からお礼申し上げます。本年は苑長さんのご厚意により、番蔵棟、会議室に加え洋館にも活けさせて戴くことが出来、また一つ勉強の場が増えたことに感謝します。

### 平成十一年 六華苑での月釜予定

(午前十時～午後三時三十分)

開催日	茶道担当流派
四月十八日(日)	煎茶 松風流
五月十六日(日)	表千家流
七月十八日(日)	裏千家
九月十九日(日)	遠州流
十月十七日(日)	松尾流
十一月二十六日(日)	MOA山月光輪花
十二月二十日(日)	表千家流
三月十九日(日)	竹真流
裏千家	草月流

※茶会は離れ屋、華道展は番蔵棟・洋館で行います。

尚今回は、休館日の関係で展示の中日が休館となりましたことを反省し今後はこの様な不都合のない計画をし、より多くの方々に作品展において戴けるように話し合いが進められております。

また十一年度も離れ屋、番蔵棟にて月釜、いけ花展を計画しております。どうぞ皆様多数のご来席ご高覧いただきますようご案内申し上げます。



華道展 11月1・3日 六華苑にて



## シンポジウム『桑名』について

五周年記念事業実行委員長 西羽 晃



〈記念誌発行〉

桑名市文化協会五周年記念としての事業をするため、七人の委員が会長から委嘱されて、まず何をするかの討論に取り組んだ。費用対効果を考え、在り来たりの講演会ではなく、手作りの市民参加型で、且つ一過性でなく、記録を永く残すことを考えた。そしてパネラーを公募して、シンポジウムを行うことになった。

当時は他人まかせや、行政批判の意見でなく、自分ならこうするという能動的な発言を期待した。その全容はくわしく記録し、記念誌として発行しているが、貴重な発言が多かった。意見が続出し、三時間がまたたく間に過ぎてしまった。

今回は文化協会の役割について



シンポジウム風景 5月24日  
コミュニティプラザにて

具体的には触れなかつたが、コーディネーターは行政と文化活動とのパイプ役になるように、そのためにも小さな会合でも良いから、意見発表・交換の場を継続的に持つようとのまとめがあつた。年一回の市民芸術文化祭だけのための文化協会からの脱皮に努め、今後の文化協会を活性化していくことが出来れば、今回のシンポジウムは成功したと言えよう。

日時 平成十一年五月十六日（日）午前十時から  
場所 桑名市コミュニティプラザ 中会議室  
内容 事業について・収支決算予算について・  
規約改正について・役員の改選についてほか

各部門ごとに代議員の選出をしていただきます。  
詳しくは各部門長から連絡します。

### 編集後記 広報委員会

皆様の御協力、本当にありがとうございました。この桑名市文化協会の心が二十一世紀に連綿と続いている一誌となれば私たち広報委員の喜びとするところです。



委員長	芸能Ⅰ部門	上原巳喜子
美術部門	水谷えい子	
芸能Ⅱ部門	松田 正美	
芸能Ⅲ部門	小出 福子	
音楽部門	小林 信隆	
演劇部門	羽場 正一	
茶華道部門	小川 章子	
社会文化部門	種瀬 映子	
趣味教養部門	山田 尚子	
子ども文化部門	長尾寿美子	